

うえだ

UEDA

市議会だより

平成24年1月1日号 No.31



議席番号順に並んで撮影しています。

「市民の中の議会」の実践を！

「市民目線を大切に」

議長 南波 清吾
副議長 下村 栄

新年おめでとうございます。市民の皆様一人ひとりと
とって幸多き年となることを願い、謹んで年頭のごあいさ
つを申し上げます。

昨年は東日本大震災、長野県北部の地震などが発生し、
広範囲に及ぶ大きな被害がありました。国民が一丸とな
り、さまざまな支援により復興が進んでいます。

上田市議会としても、被災見舞い、被災支援並びに上田
市震災対策の推進に関する決議を3月議会で議決すると
もに上田駅前街頭募金活動も行いました。さらに被災地
へのボランティア活動に多くの議員が繰り返し参加し、そ
れぞれ学んでまいりました。

今回の災害での教訓は、「想定外」という言葉で逃げて
はいけないこと、自然の脅威を忘れないこと、普通に家族
とともに住み慣れたふるさとで暮らせることのありがたさ、
そして人と人、人と地域の絆の大切さではないでしょうか。
再認識しなければならぬのは、自然と人間があるのでは
なく、自然の中に人間があるということです。

上田市議会でも、これまで「市民と議会」ととらえがち
でしたが、「市民の中の議会」という視点が大切です。こ
うした視点から昨年は11月に市内9会場で議会報告会を初
めて開催しました。夜間や雨降りの中、大勢の市民の皆様
にご参加いただき、議会の活動を知っていただくともに、
大変有意義な意見交換ができ、今後の活動に大きな手ごた
えを感じたところです。

今後も市民目線を大切に、市民の幸福度をアップさせる
ため、市民の中の議会としての活動に邁進してまいりま
す。本年も皆様のご協力のほどどうぞよろしく願いた
します。

皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

総務文教委員会

―見えてきた「交流・文化施設」―

- ◎ 小林 隆利
- 井沢 信章
- 土屋 亮
- 池田 総一郎
- 半田 大介
- 久保田 由夫
- 尾島 勝栄
- 下村

平成19年1月、母袋市長が市民会館の移転改築と、美術館を併設した交流・文化施設の建設構想を発表しました。上田市議会設置の「交流・文化施設特別委員会」の調査研究による平成20年の提言の結果、座席数などの見直しはなされ、事業費、財源内訳などに考慮した計画となりました。

交流・文化施設を所管する総務文教委員会は、23年6月議会で、実施設計・運営管理検討費などの予算を可決し、同年8月には実施設計業務委託契約が締結され、26年秋の完成を目指して事業が進められています。委員会として、今後とも市の健全財政堅持を基本とした取り組みとなるよう提言してまいります。



美術館の施設や運営管理についても調査

産業水道委員会

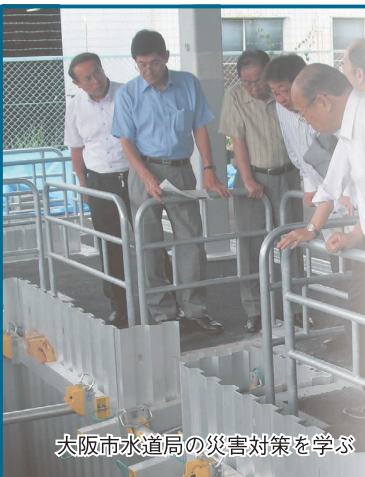
―農林商工連携の産業振興―

- ◎ 西沢 逸郎
- 内堀 勝年
- 小坂 井二郎
- 安藤 友博
- 佐藤 公至
- 渡辺 正博
- 滝沢 清茂

急速に少子高齢化が進む人口減少時代にあって、さらに超円高・デフレの厳しい経済情勢のもと、いかに農林商工が連携して地域の産業を振興させ、雇用をつくり、収入を増やすかが重要な課題です。

当委員会はこの一年、千代田区の商業地の再生、神戸市の大河ドラマ清盛を活用した観光客誘致、大阪市水道局の災害対応等の行政視察を実施し、市内では、県のパーソナルサポートセンター上田、若者サポートステーション・シナノ、AREC、Fii等の調査研究を行いました。

今後は、上田発の新施策を委員全員の英知を結集して検討いたします。



大阪市水道局の災害対策を学ぶ

厚生委員会

―支え合う社会を目指して―

- ◎ 池上 喜美子
- 三井 和哉
- 土屋 勝浩
- 佐藤 清正
- 足立 誠
- 土屋 陽一
- 金井 忠一

東日本大震災から私たちは、支え合う社会の大切さを教えられました。市民の皆様が安心して暮らせるようさまざまな課題の解決のため、積極的に委員会活動に取り組んでまいりました。今年度は、「権利擁護・成年後見に関する活動」「発達障がい及び就労支援事業」について先進地の滋賀県へ、介護サポーター・ポイント制度」について福井県へ行政視察し、多くのことを学んできました。また、活発に高齢者福祉、障害者福祉、子育て支援などの所管事務調査も行いました。

今後も、現場の声を聞き、市の現状を把握した中で、政策提言をしてまいります。



大津市の(特非)あざがおで行っている権利擁護と成年後見活動について視察

環境建設委員会

―絆で結ぶ防災の地域づくり―

- ◎ 深井 武文
- 小林三喜雄
- 土屋 孝雄
- 古市 順子
- 松山 賢太郎
- 児玉 将男
- 清水 俊治
- 堀 善三郎

昨年3月に、東北及び長野県北部で発生した巨大地震と津波による大災害は、原子力発電所事故をも引き起こし、尊い多くの人命と財産を瞬間にして奪い、今なお多くの行方不明者と爪痕を残し、復興への課題が山積しています。この大震災から、さまざまな教訓を学びました。

改めて自然災害の恐ろしさを知るとともに、防災に向けた地域づくりと、一人ひとりの自覚が固い絆で結ばれた防災体制を築くことが喫緊の課題です。環境建設委員会は、執行機関とともにさらなる取り組みに力を注いでまいります。



突出沢川河川改修工事を現地調査

議会運営委員会

—先進地視察や調査研究を進め、初めて「議会報告会」を開催—

- ◎ 久保田由夫
- 清水 俊治
- 池上喜美子
- 三井 和哉
- 西沢 逸郎
- 尾島 勝誠
- 足立 勝年
- 内堀 勝年
- (土屋 孝雄)



議会報告会の先進地を視察(松本市)

昨年4月から「議会報告会」について議論を開始し、先進地である松本市や小諸市を視察するとともに、実施に向けて集中的に議論を行い、8月には「議会報告会」の開催を議会全体で確認しました。その後、議会報告会運営委員会を設置し、役割分担を決め、議員全員で準備をしました。一度目となる小諸市議会主催の「議会報告会」を、実際に視察研修し、リハーサルも行い、上田市議会として初めての「議会報告会」を開催することができました。今後、課題を整理し次回に活かしていきます。

また、平成22年10月に行った議会改革に関する各会派の提案に基づき、当委員会が担当する項目について精力的に調査研究を進めています。

議会広報特別委員会

—議会情報の広報活動に取り組んで—

- ◎ 土屋 孝雄
- 松山賢太郎
- 池田総一郎
- 古市 順子
- 半田 大介
- 井沢 信章
- 三井 和哉



議会情報の発信方法について検討を重ねる

議会広報特別委員会では、平成22年から始まった議会改革の取り組みの一つである「開かれた議会」に向け、議会から積極的に議会情報を市民の皆様へ伝え、説明責任を果たしていくため議会情報を報告する機会(場)を設けていくとの理念に基づき活動しています。今年度は、新たにホームページ上で各会派の視察報告書を掲載することとしました。また、会派の理念、目標等がよくわからないとの声をいただいたことから、市議会だより第29号から各会派の紹介を掲載しています。

今後も議会広報活動に積極的に取り組んでまいります。

地域医療再生特別委員会

—休日歯科救急センター開設する—

- ◎ 金井 忠一
- 安藤 友博
- 土屋 勝浩
- 小坂井二郎
- 小林三喜雄
- 佐藤 清正
- 池上喜美子
- 足立 誠
- 内堀 勝年



休日歯科救急センターを視察

地域医療再生計画に位置づけられていた休日歯科救急センターが開設されました。この間地域医療再生特別委員会は、上田小泉歯科医師会との懇談を行ってまいりました。さらに、上田地域広域連合を含めての協議も行いながら、同センターは昨年11月13日に開設する運びとなりました。事業費は2700万円です。

委員会では今後、信州大学医学部と地域医療再生計画に基づく、信州上田医療センターへの医師派遣等についての懇談を行う予定です。また、地域医療再生計画の終了する平成25年以後の地域医療体制の充実強化のために、信州上田医療センターとの懇談も行いながら、調査研究成果をまとめ、議会での提言を行ってまいります。

産業活性化・雇用促進特別委員会

—産業の活性化を目指して—

- ◎ 滝沢 清茂
- 佐藤 公至
- 半田 大介
- 松山賢太郎
- 小林 隆利
- 渡辺 正博
- 児玉 将男
- 清水 俊治
- 深井 武文



塩尻市インキュベーションプラザで先進的取り組みを視察

当特別委員会では、調査研究項目を絞り、産業活性化施策の先進地である東京都大田区(産業振興基本戦略)、墨田区(中小企業支援策)、群馬県太田市(テクノプラザおた)、長野県諏訪市(小中学生ものづくり教育)、塩尻市(産業活性化人材養成事業)、また市内のAREC、信大繊維学部(F-i)を視察するとともに、東日本大震災以降の市内商工業の状況把握や真田町商工会との懇談等に積極的に取り組んでまいりました。

今後は、これまでの調査研究をまとめ、産業活性化と雇用を促進する提言を検討してまいります。

議会機能強化特別委員会

- 栄夫 雄浩 介 正 博 子 哉 郎 勝 誠 年 治 文
- 田 孝 勝 大 清 正 美 和 逸 勝 俊 武
- 村 保 屋 屋 田 藤 辺 上 井 沢 島 立 堀 水 深
- 下 久 土 土 半 佐 渡 池 三 西 尾 足 内 清 深

さらなる議会改革と強化を目指して

新市発足以来、上田市議会ではさまざまな議会改革を進めてきました。これまでの取り組みを後戻りさせることなく、さらには市の自治基本条例が制定されたことにより、議会の基本理念や議員の責務及び活動原則等を今まで以上に明確に市民の皆様へ説明し、開かれた議会運営を現実のものとする必要があります。

他市では議会基本条例を制定することが優先し改革が後追いをしている例もありますが、当委員会としては「改革実践を優先しその先に目指す議会基本条例が制定されるべきである」との一定の方向性を結論づけました。



分権時代にふさわしい議会を目指して

議会報告会速報

上田市議会として初めて開催した議会報告会には、428人の市民の皆様にご参加いただき、たくさんの貴重なご意見をお聴きすることができました。ありがとうございました。

2月1日発行のうえだ市議会だより第32号にて、結果をご報告します。

○会場別参加者数

開催期日	実施地区	会場	参加者数
11月16日	中央地区	中央公民館	53
	塩田地区	塩田公民館	31
	真田地区	真田中央公民館	26
11月17日	川西地区	浦野公民館	59
	武石地区	武石公民館	77
11月18日	神科・豊殿地区	染屋自治会館	46
	丸子地区	丸子文化会館	39
11月19日	城南地区	城南公民館	61
	西部地区	西部公民館	36

議会ホームページを見よう!

～議会ホームページでは次の情報を見ることができます～

市議会情報

- 定例会・臨時会の日程（一般質問・委員会審査・請願・陳情審査）
- 意見書・決議 ○議会報告会

市議会のしくみ

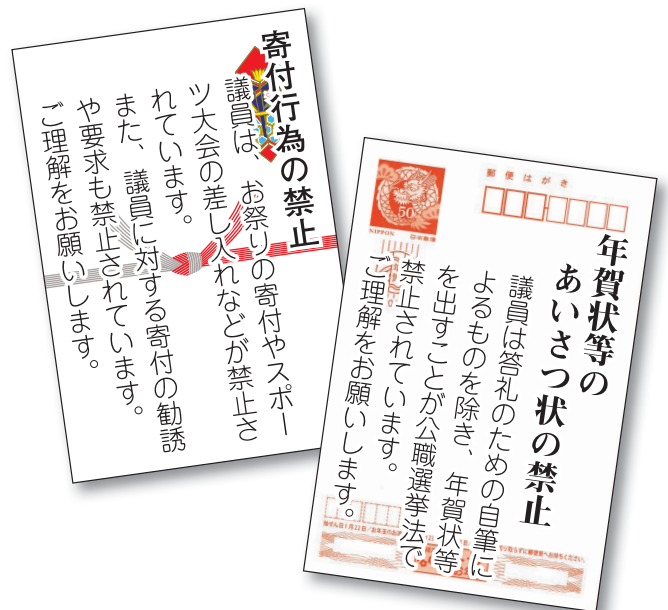
- 市議会のあらまし
- 議会傍聴のご案内
- 請願・陳情について

市議会議員

- 議員名簿・各種委員会名簿
- 議長交際費 ○政務調査費
- 会派視察報告

うえだ市議会だより

会議録検索システム



編集後記

新年明けましておめでとうございませう。2011年はまさに激動の一年であり、今までの価値観や体制などを再検証しなければならぬ重要な時期となりました。市議会でも昨年11月に議員みずからが企画、運営し市民の皆様と対話する「議会報告会」を初開催し、428人が参加され、活発なご意見ご要望を多数いただきました。多くの感想をいただいた中で圧倒的に議会報告会の継続的な開催を望まれるものが多く、議会広報活動に努めようという思いを新たにするとともに、市民の代表としての議員の役割を再認識するよい機会を得ることができました。

今年もよりよい上田をつくるために全議員一丸となって実践してまいります。

(松山賢太郎)

平成24年1月1日発行
 発行：上田市議会
 〒386-8601 上田市大手一丁目11番16号
 TEL.0268(22)0452 FAX.0268(23)5136
 E-mail: gikai@city.ueda.nagano.jp
 URL: http://www.city.ueda.nagano.jp
 編集：議会広報特別委員会
 委員長：土屋 孝賢 雄太郎
 副委員長：松山 賢太郎
 委員：池田 田市 総一郎 子介 章哉
 古半 井三 順大 信和
 井三 井三 和

印刷：田口印刷株式会社